

持続可能な地域づくりを担う人材育成 (次世代の担い手づくり)

長崎県内小・中学校におけるESD教育の実践事例



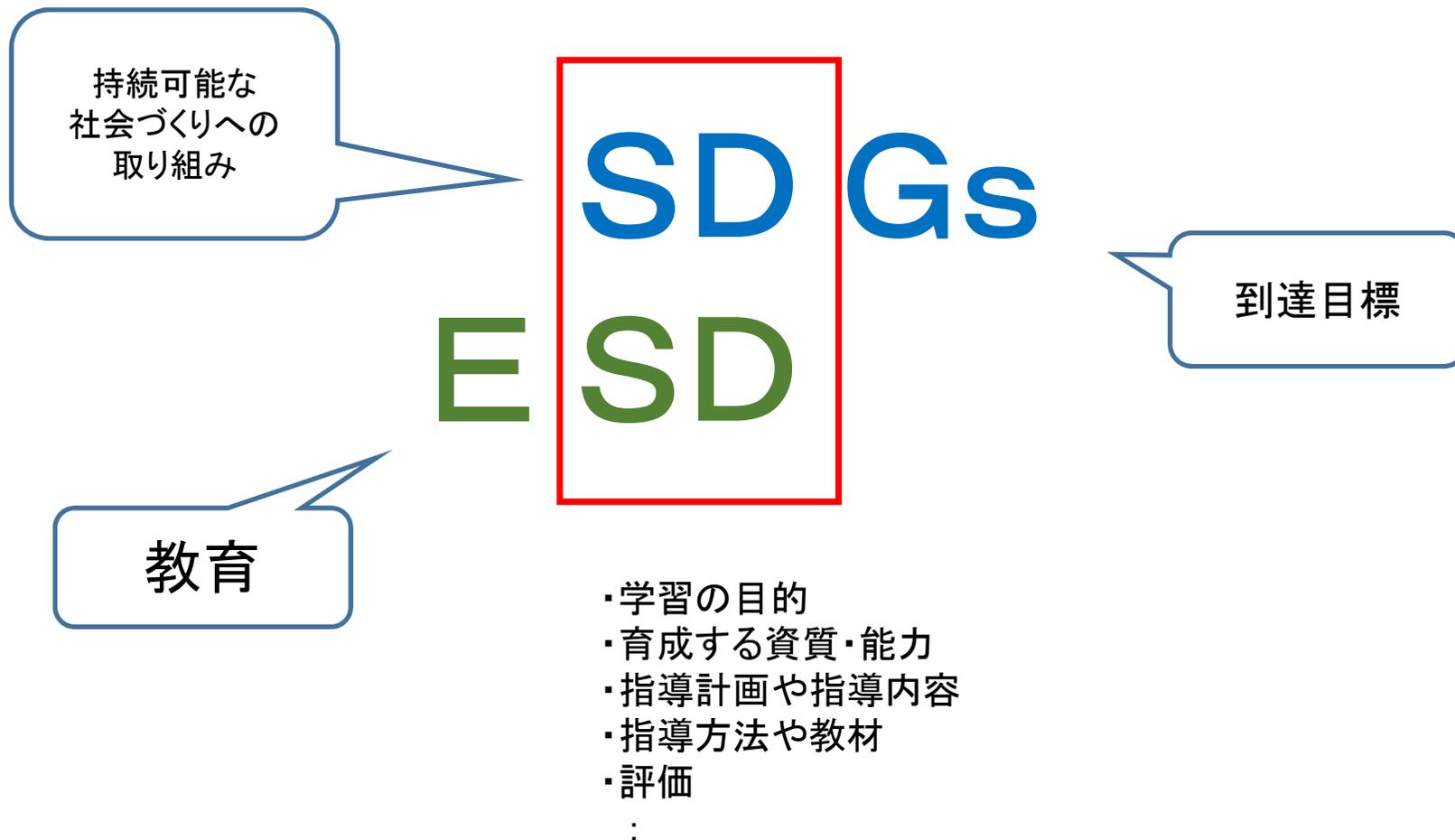
- 環境省:持続可能な地域づくりを担う人材育成事業(モデル校づくり)
(平成25年度~27年度)
- 長崎県環境部:学校と地域が連携した持続可能な地域づくりを担う
ESD人材育成普及の仕組みづくりと実践事業
(平成27年度~29年度 NPOと県がともに働く協働事業)

NPO法人環境カウンセリング協会長崎
副理事長 宮原和明

(長崎総合科学大学名誉教授)

2019.02.13

持続可能な開発のための教育 ESD



ESD実践校づくりと地域プラットフォームづくり

● ESD実践校づくり

2年間で他地域へESD普及のモデルとなる実践校づくり
「地域で学べば、地域が育つ」視点で！

H28年度 ・対馬市全小中学校対象のESD教育研修会と上県重点校7校
・長崎市立高城台小学校

H29年度 ・対馬市重点小中学校8校のESD研修会とESD教育実践発表会(ESD教育の深化)
・長崎市立高城台小学校

● ESDのための地域のプラットフォームづくり

ESD教育人材育成事業研修会の成果を県下各市町教育委員会等に広める

学校と地域が連携した持続可能な地域づくりを担う ESD人材育成普及の仕組みづくりと実践事業(対馬市)

事業構想

ESD人材育成普及実行員会
対馬市教育委員会学校教育課

対馬市教育努力目標
故郷を知り、愛し、未来
につなぐ、学びの充実

総合教育の目標
よりよく問題を解決する資質や能力

次期学習指導要領(2020)
探究的学習の深化
アクティブラーニングの定着

ESDの概念、能力、態度

ESD教育についての教職員の理
解のための研修の実施

豊かな体験活動

上県・上対馬町地区ESDワーキンググループ

カリキュラム
マネジメント

大学教授等専門家活用のため
の支援並びに講師料・材料費
等の費用面での支援、遠隔授
業の実施

- ESD教育を全小中学校に理解してもらう。
H28年度の研修会実施(2回) ESD教育研修 全小中学校+高校
H29年度の研修会実施(2回) ワーキンググループ研修会、ESD実践発表会
- 立教大学の対馬市とのESD推進事業の締結を受けて、
全島のすべての地区でESD教育の展開を図る。
H29年度から研究指定

ESD教育の学校間における発展性(学校間連携)

総合学習で進めたい発展的取組の例(対馬市教育委員会学校教育課作成)

＜小学校＞	＜中学校＞	＜高校＞
対馬のシイタケ栽培に挑戦 <ul style="list-style-type: none"> ● シイタケの秘密を探る ● シイタケの栽培体験 ● シイタケの郷土料理体験 ● 20年後のシイタケ栽培を考える 	<ul style="list-style-type: none"> ● シイタケの収穫率を高める栽培方法について調べて提案する ● シイタケの有効な商品化について調べて提案する 	<ul style="list-style-type: none"> ● シイタケの収穫率を高める栽培方法について農家とともに共同実証活動をする ● シイタケの有効な商品化について製造販売所と行動実証活動をする
ツシマヤマネコと対馬ぐらし <ul style="list-style-type: none"> ● ツシマヤマネコの秘密 ● ツシマヤマネコの観察体験 ● 調査活動の体験 ● 人々の生活との関わり ● 20年後のツシマヤマネコとわたし 	<ul style="list-style-type: none"> ● 野生動物の保護活動とは ● 地球上の生物レッドデータ ● 世界の保護活動の最先端 ● ツシマヤマネコの生存のためにできることを提案する 	<ul style="list-style-type: none"> ● ツシマヤマネコの生存のためにできることの提案を受けて、更に自分なりに保護対策を具体的に考える ● 野生生物保護センターの専門官からのアドバイスを受ける ● 関係者に具体的な取組について提案し、実行に移す
漂流ゴミはどこから <ul style="list-style-type: none"> ● 漂流ゴミの実態 ● 漂流ゴミの原因 ● 漂流ゴミが与えている影響 ● 20年後の対馬の海と自分との関わり 	<ul style="list-style-type: none"> ● 漂流ゴミの処理の現実 ● ゴミを資源にする技術 ● 漂流ゴミを減らすための具体的な方法について提案する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 漂流ゴミを減らすための具体的な提案を受けて、更に自分なりに対策を具体的に考える ● 韓国の高校生や大学生との交流を図り、その対策について一緒に考え合う ● 関係者に具体的な取組について提案し、実行に移す

ESD実践校づくり ESD人材育成事業研修会の開催

	実施日	場所	対象・参加者	参加者数	内容
1	H28/6/1(金)	対馬市豊玉文化会館	小・中・高等学校の校長・教頭・担任・環境活動団体等	32名	ESD導入と、県内実践事例の紹介、対馬市でのESD教育について
2	H28/8/22(月)	対馬市峰町公民館		37名	ESDで培う概念・能力・態度、学習プログラムの検討・情報交換
3	H29/8/29(火)	上対馬総合センター		23名	ESD実践前の整理、会計処理について、環境省事業の紹介
4	H30/1/23(火)	巖原北小学校		43名	ESD実践事例発表会(小学校3校6件、中学校1件、高等学校1件)
合計				135名	



H29/8/29(火)
上対馬総合センター



H30/1/23(火)
巖原北小学校

まとめ 成果・効果

- ESDの理解が、実践者へ浸透
- 地域に根ざしたESD実践プログラムの磨き上げ
(※「しまの宝」学びプログラム19テーマの事例 対馬市教育委員会学校教育課)
- ESD実践校における事務処理等の整理
- ESD実践発表会では、ESDによる子供達の変化が具体的に示され、共有することができた
(※平成29年度第2回ESD人材育成事業研修会 実践発表)
- 今後の展開・方向性
 - ①ESD研修会の継続
 - ②自校での実践の深化
 - ③ユネスコスクール登録(チャレンジ中)



平成29年度第2回ESD人材育成事業研修会 実践発表

実践校におけるESDプログラムの実施 (対馬市 H28年度7校、H29年度8校)

実施時期	場所	対象	対象者数	満足度 (アンケートより)	プログラムテーマ
H28 年度	豊小学校	5～6年生		99.5%	韓国を知る
		3～4年生			対馬の名産品
	比田勝小学校	5～6年生	43名		とんちゃん部隊とコラボ
	比田勝中学校	2年生	26名		魚捌き教室
	仁田小学校	3年生	9名		ツシマヤマネコPR
		4年生	14名		そば打ち体験
		5年生	5名		餅つき体験
		6年生	12名		仁田の歴史
	仁田中学校	1年生	7名		シカ・イノシシ
	佐須奈小学校	5年生	11名		田んぼの学校
佐須奈中学校	2年生		地域貢献活動		
	3年生		地域をデザインしよう		
H29 年度	仁田中学校	1年生	12名	98.7%	対馬のシカ・イノシシ対策を学ぼう
	仁田小学校	5年生	13名		稲作体験・餅つき体験
		6年生	5名		仁田の歴史を探ろう
		2～3年生	16名		対馬の生き物教室
	巖原北小学校	3～6年生	10名		ツシマシイタケ植菌活動
	比田勝小学校	3年生	19名		そば打ち体験活動
	比田勝中学校	1年	26名		韓国学習
	佐須奈小学校	4年生	12名		対馬の魅力を体験しよう
	佐須奈中学校	3年生	10名		国境地域学
豊小学校	5～6年生	6名	水産業の未来		

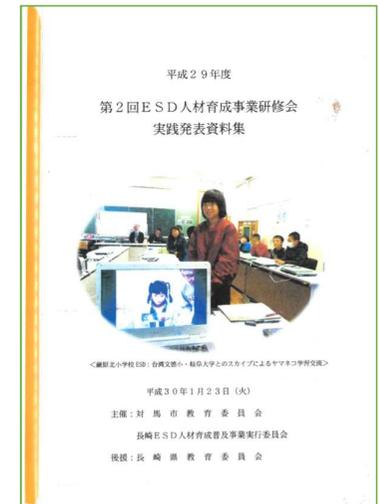


ESD実践のためのプラットフォームづくり

- 県下全域で学校と地域が連携したESD教育を実践していくための連携協働体制(プラットフォーム)づくりを進めるため、各市町を訪問し、提供できる協力の内容を示したうえで具体的な実施に向けて意見交換を実施
- 役割分担
 - ・NPO・・・面談予約、ESD実践事例等紹介
 - ・県・・・既存事業を絡めた、ESD実践支援体制の紹介
- 概要
 - ・各市町教育関係先(教育委員会、小学校、中学校等)を訪問し、ESD人材育成普及事業の紹介と実践プログラム・ESD実践発表会事例紹介、県の環境教育関係事業と支援体制の紹介
 - ・訪問先一覧



	実施日	市町名	市町参加者(面会者)
1	H29/12/18(月)	佐世保市	学校教育課長及び指導主事4名
2	H29/12/18(月)	平戸市	指導主事
3	H29/12/18(月)	松浦市	指導主事
4	H30/3/2(金)	五島市	指導主事
5	H30/3/5(月)	新上五島町	指導主事、小学校教頭2名、中学校教頭1名
6	H30/3/9(金)	雲仙市	学校教育課長及び指導主事5名
7	H30/3/9(金)	南島原市	指導主事、校長、教頭、主任各1名
8	H30/3/9(金)	島原市	指導主事2名
9	H30/3/12(月)	時津町	指導主事
10	H30/3/12(月)	長与町	指導主事
11	H30/3/12(月)	諫早市	指導主事
12	H30/3/12(月)	大村市	指導主事



県内への普及拡大 → 教育委員会への訪問



有川中学校



③松浦市



⑩長与町



⑨時津町



青方小学校



①佐世保市



⑪諫早市



⑥雲仙市



有川小学校



⑤新上五島町



- ①佐世保市
- ②平戸市
- ③松浦市
- ④五島市
- ⑤新上五島町
- ⑥雲仙市
- ⑦南島原市
- ⑧島原市
- ⑨時津町
- ⑩長与町
- ⑪諫早市
- ⑫大村市



⑦南島原市

県北地域環境教育等ネットワーク会議(佐世保市)

環境政策課が開催した「県北地域環境教育等ネットワーク会議(H30年2月15日)」へ、環境アドバイザーの一員としてNPO法人環境カウンセリング協会が参加し、県北地域(佐世保市・平戸市・松浦市・佐々町)の教育委員会関係者や環境活動団体、環境行政担当者等へ対馬市でのESD実践事例を紹介し、今後のプラットフォームづくりや具体的な実践等について意見交換を実施

○特に力を入れた点、苦労した点

- ESD教育の必要性及び重要性の認識を持ってもらうこと、及び地域との協働の重要性を認識してもらうことを第一の目的とした
- 時間的余裕がなく、具体的なプラットフォームづくりは、その緒に就いたばかりであり、今後の課題として継続的なアプローチが必要である



講師:長崎大学教育学部 井出准教授



ワークショップ風景

平成30年度以降の展開

■ESD実践校への支援(県環境政策課)

- 県の既存の事業である、環境アドバイザー制度を利用し、ESD実践校や実践希望校へ出前講座講師の派遣や紹介を継続する
- 本事業にて出前講座講師として派遣されていた講師の一部及びESDプログラム作成や実行委員会への助言をお願いしていた長崎大学教育学部関係者は環境アドバイザーへ登録済のため、今後もESD実践校へ関わっていただくことが可能
- NPO自身も環境アドバイザー制度へ登録しているため、今後も環境アドバイザーとして、ESD実践校へ派遣が可能であり、独自の人脈を活用しながら、県下へESDを浸透させる活動を継続していく

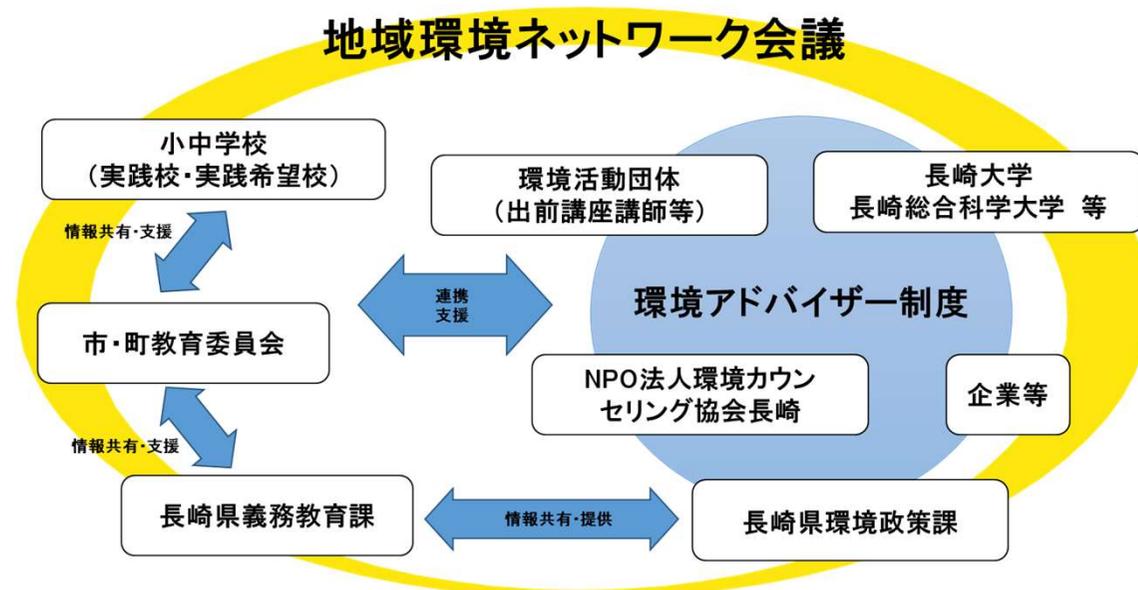


図: ESDのための地域のプラットフォーム構成例(県環境政策課)

● 島原半島地域プラットフォームづくり

「ESDカリキュラム・デザイン研修会」(対象:教職員及び環境学習推進リーダー)

平成31年1月18日

主催:長崎県環境部

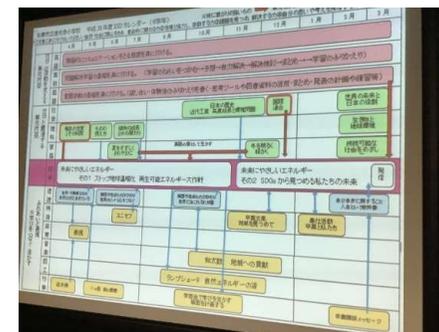
会場:島原市有明町総合文化会館

「ESDの学びを創る」



講師:東京都多摩市立連光寺小学校
校長 棚橋 乾 先生
(全国小中学校環境教育研究会)

研修風景



事例1 対馬市立厳原北小学校 (しいたけPR(3年生))

平成29年度 第2回 ESD人材育成事業研修会

総合的な学習の時間 『対馬しいたけのよさをPRしよう!』



対馬市立厳原北小学校
3年生 10名
担任 立花 奏恵
平成30年1月23日(火)

【第3学年において本題材を選定した理由】

- 1 対馬の優良農産物である「しいたけ」を取り囲む自然環境・人・産業・食文化に注目
- 2 他教科(国語・社会科)との関連
- 3 体験・思考を通して「自分たちにできることは何か」を表現する力の育成



1 対馬の優良農産物である「しいたけ」を取り囲む自然環境・人・産業・食文化に注目

自然環境

人

対馬
しいたけ

産業

食文化



2 他教科(国語・社会科)との関連

国語科

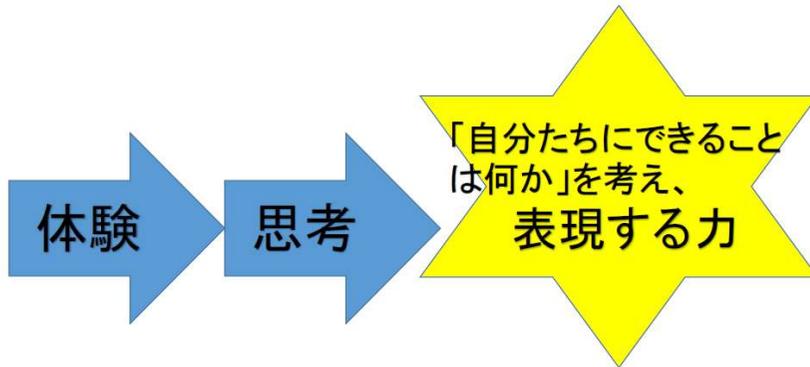
- 話したいな うれしかったこと
- インタビューをして メモをとろう
- グループで話し合おう
- 調べてかこう わたしのレポート
- 心にのこったこと など

社会科

- わたしたちの すむ町や市
- わたしたちの町や市で働く人々 など



3 体験・思考を通して「自分たちにできることは何か」を表現する力の育成



【本題材の活動目標】

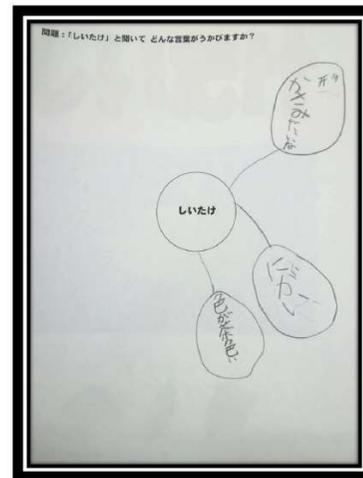
全国的に有名な「対馬しいたけ」の栽培について理解を深めると共に、その良さをさらに広げるための工夫を考え実行に移す。



【当初のWeb図】

例:Aさん(9月)

- しいたけについての語彙量が少ない
- しいたけ自体が苦手
- 自身の生活の中で意識付けられていない



今回の学習で特に配慮した点

- ①探求学習の質を高めるために、より多くの専門家や地域の方との出会いを取り入れること。
- ②ESDの概念や資質育成を図ること。
- ③学力向上のための意図的な活動を仕組むこと。

【専門家や地域の方との出会い】①

栽培農家へ見学同行



原木の菌打ち体験指導

「対馬の自然環境としいたけとのつながり」の講話



長崎県振興局 農林水産部
林業課 三道 正和さん

【専門家や地域の方との出会い】②

しいたけ栽培・加工販売会社・工場見学



しいたけ栽培・加工販売
株式会社『翔栄』 木村一彦さん

【専門家や地域の方との出会い】③



県で開催されているしいたけ品評会で
何度も農林水産大臣賞を受賞！
対馬しいたけマイスターのトップ



しいたけ栽培農家 吉田 永さん

【ESDの概念や能力・態度の育成を図ること】

〈関連〉つながりを尊重する態度

しいたけ栽培の専門家
に関連する新聞記事を読む

インターネットや関連本などで
対馬しいたけについて調べる



【ESDの概念や能力・態度の育成を図ること】

〈多様性〉 〈協力〉他者と協力する態度

原木への植菌体験



原木の水やり・遮光ネットかけ

【ESDの概念や能力・態度の育成を図ること】

〈多様性〉 〈協力〉



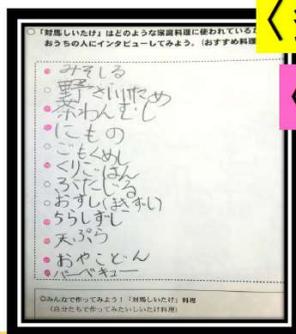
しいたけ工場見学
しいたけ収穫・商品加工体験



【ESDの概念や能力・態度の育成を図ること】

〈多様性〉

〈協力〉



家庭でのしいたけ料理の
聞き取り調査



自分たちで
しいたけ料理を作る

【ESDの概念や能力・態度の育成を図ること】

〈伝達〉コミュニケーションを行う力



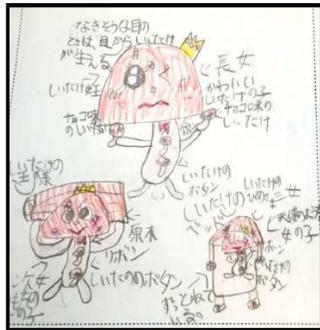
学習発表会でのPR



自分の考える対馬しいたけのよさ

【ESDの概念や能力・態度の育成を図ること】

〈未来〉未来像を予測して計画を立てる力



しいたけキャラクター 看板製作

【学力向上のための意図的な活動を仕組む】

〈国語との関連〉 A(1)話す・聞くこと



見学先でのインタビュー



対馬しいたけと対馬の自然環境 についての講話



学習発表会でのPR活動

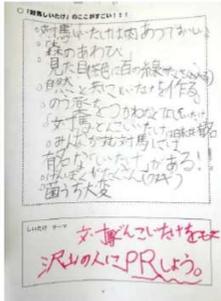
【学力向上のための意図的な活動を仕組む】

〈国語との関連〉 B(1)書くこと

見学先での取材メモ



学習中のワークシート



PRポスター作成

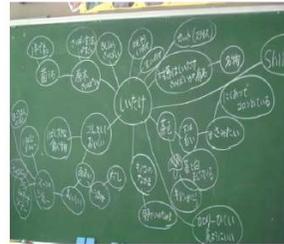


【学力向上のための意図的な活動を仕組む】

〈国語との関連〉 言語活動

インターネットや関連本などで 調べたことを意見交換し、 概念図にて整理し共通理解

PRしたい「しいたけのよさ」をポスター形式で 発表・質問・相違点・互いのよさを認め合う



【学習の成果】(一部ご紹介)



しいたけの歴史と栄養を語るしいたけ仙人



しいたけに関するクイズ



自分たちで考えた対馬しいたけの歌 (サザエさんバージョン)



学習発表会を見に来てくださった方々
左:吉田 永さん
右:三道 正和さん

【学習の成果】(一部ご紹介)



自分たちで考案した対馬しいたけキャラクターをJA「農業まつり」の収穫・植菌体験コーナーに看板として飾りました!!



【学習の成果】(一部ご紹介)



対馬しいたけの栄養と我が家のしいたけ料理をPR

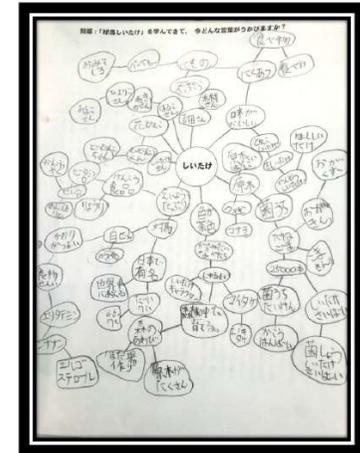


対馬しいたけ栽培に携わる人達の思いを伝えるPR

【学習後のWeb図】

例:Aさん(12月)

- しいたけについての語彙量が増加 (3こ⇒50こ)
- しいたけの美味しさが分かって食べるようになった。
- 自身の生活の中でしいたけに関する話題が増えた。(買い物する時の視点・給食の献立・家庭での料理)
- しいたけを大切にするために対馬の自然を大切にしたい。



【アンケートからわかる児童の変容】

問① 学習は楽しかった 100%

問② その理由として

- ・原木への菌打ち体験や栽培体験
- ・見学先での収穫体験や商品化体験
- ・対馬しいたけキャラクター製作
- ・対馬しいたけの歌作り
- ・学習発表会などでのPRができたこと
- ・知らなかった「対馬しいたけのひみつ」がわかったこと

【アンケートからわかる児童の変容】

問3 もっと調べてみたいことがあった 90%

問4 その内容は・・・

- ・しいたけの原木について
- ・しいたけ料理
- ・しいたけの種類
- ・しいたけに関連した人達が他にどんな仕事をしているか
- ・しいたけと木のつながり
- ・木を植える仕事

【アンケートからわかる児童の変容】

問5 学習したことで自分達の暮らしに関係はある

100%

問6 友達と協力した活動ができた

100%

- ・できた(6人)
- ・学習発表会などでのPRができたこと(1人)
- ・人前で対馬しいたけをPRできた(3人)

問7 これからどんなことに取り組んでいこうと思うか

- ・栽培しているしいたけを使ってしいたけ料理を作り、みんなで食べたい
- ・栽培しているしいたけを家に持って帰って食べたい

【指導者の成果(資質向上)】

○題材を事前に研究することで自分自身が学び、それを活用授業展開ができた。

○題材に関連する専門家を探し、GTとして協力していただく上で事前・事後の連携を図る能力が向上した。
⇒児童の一連の学習活動への協力を度々得やすくなった。
⇒さらに新たな専門家との繋がりも生まれた。

○児童と共に題材を学ぶ中で、その変容を身近で把握できた。
(日常生活において対馬しいたけへの関心度が高まった児童の発言や行動などで把握できた)。



【今後の課題・次年度に向けて】

○原木栽培しているしいたけを使って「しいたけの佃煮」を作り、全校児童に試食してもらい、その美味しさをPR

○校区内での原木になる「クヌギ」の植林活動

○来年度に向けて原木への菌打ち作業

○専門家や地域の方とのさらなる出会いのための引継ぎ



～ご清聴ありがとうございました～

事例2 長崎市立高城台小学校(5年生) 3クラス160名 藤本登先生・出前講座 『環境と生活のつながりから世界貢献をしよう!』



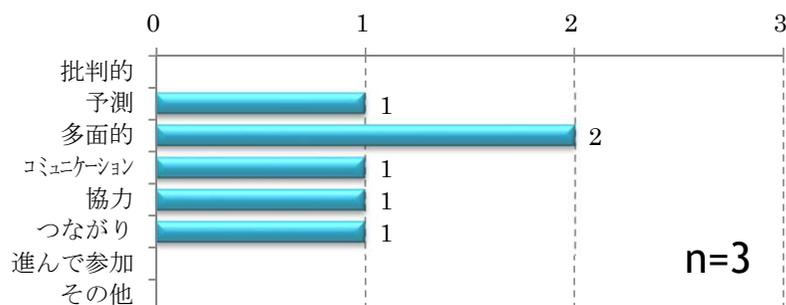
問 1. 藤本先生の出前講座「環境問題と生活のつながりから世界に貢献しよう！」は、児童・生徒の興味・関心、学ぶ意欲を高めたか。



問 2. 問1で「思う」を選択した理由。藤本先生の出前講座。

- 様々な実験があることで、子どもたちが実感しながら学習を進めることができ、効果的だったと思いました。
- 実験や写真などで、環境問題は自分達のすぐ身近にあると気付くことができるので、よいと思います。
- 学校では、見られない写真や使えない実験具等があり、関心が高められた。

問 6. ESD教育で重視する能力・態度で明確にできたもの。（複数選択可）



問 3. 今回のプログラムを通して、子供たちに環境問題や地域の課題を伝えることができたか。

- はじめて知ったことやわかったことはもちろんですが、なんとなくわかっていたことや再発見がたくさんあることで問題や課題に気付けたと思います。
- 今まで考えたことがなかった、知らなかったことがこんなにあるということが、分かったようです。自分達にも関わりがあると気づくことができたと思います。
- 地球全体としての環境問題はとらえられたと思う。地域の課題という点では、これから時間が必要。

事例2 長崎市立高城台小学校(5年生)グループ学習

GT出前講座：①街ごみ ②給食残菜 ③川の水環境 ④地域環境測定 ⑤不法投棄 ⑥家庭電気使用量 ⑦太陽光発電所

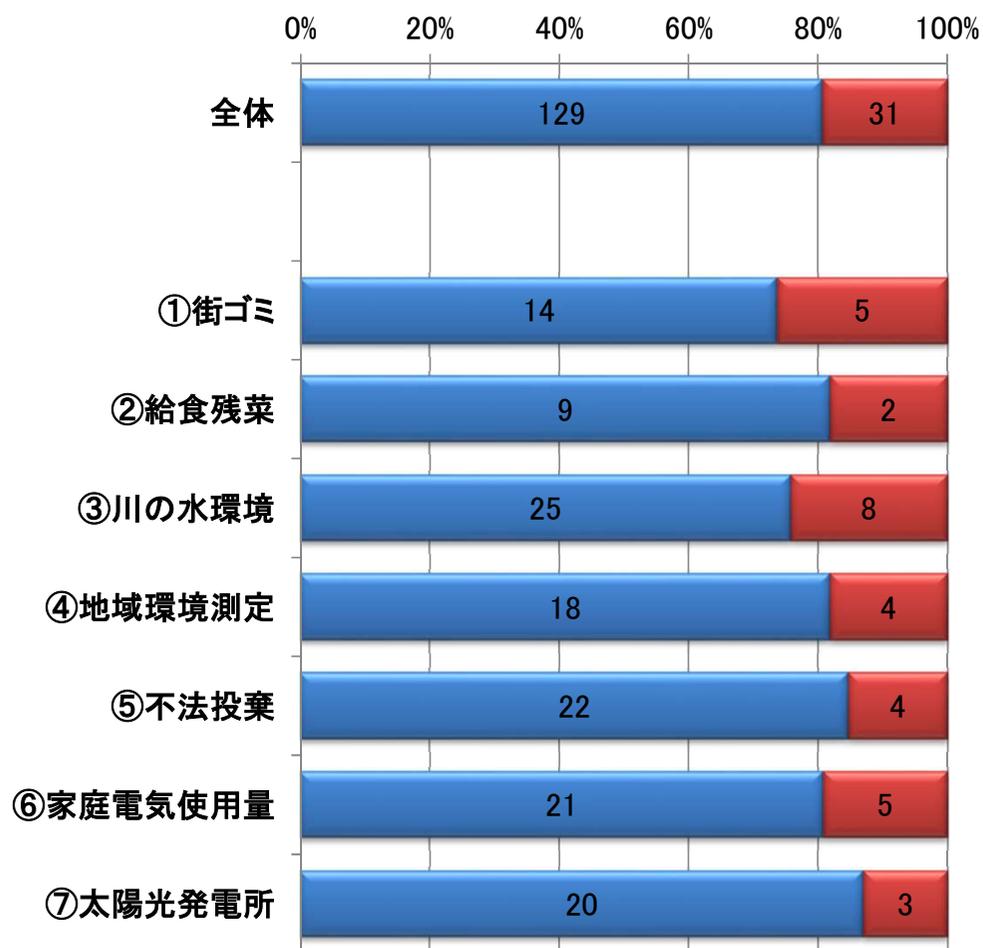


2018/1/30

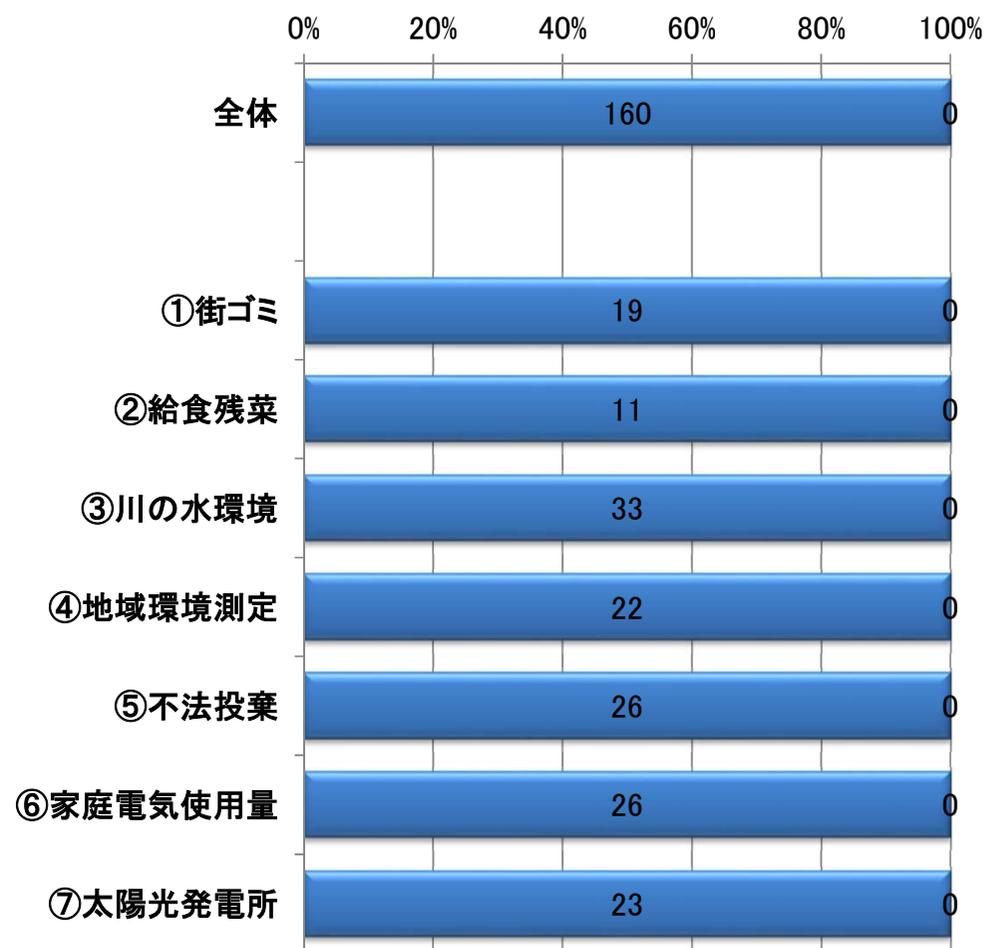


2018/1/30

問3. ゲストティチャーとの学習はもっと知りたいか。



問5. わたしたちの暮らしと関わりがあることがわかったか。





平成29年12月10日
対馬学フォーラム
小学生の発表

ご清聴ありがとうございました

対馬の価値共創・持続的な地域づくり

- 年1回大会を開催(2016年から)
- 研究や実践活動を報告
- 参加自由
- 学生や研究者が研究・実践成果を発表!
- 子どもたちが対馬学習成果を発表!
- 市民や地域団体、島おこし協働隊や集落支援員等が実践活動を発表!
- 成果冊子『対馬学』発行

対馬市民・
大学等対馬関係者

様々な協働・連携を促進



情報発信・アイデア等の供給

「対馬学フォーラム」
成果や計画を発表・共有。異業種交流、出会いの場

様々なアイデア、対馬の魅力・課題に出会う!
産業おこし、環境保全に役に立つ! 対馬の将来を考え合う!

島内外
研究者

行政
関係者

市民等
実践者

大学関係者
学生

産業、市民
団体

キーワード “つながり、つなげる、つながる”

科学の知/実践の知/伝統の知/対馬の知、森/里/川/海、過去/現在/未来、
対馬/日本/韓国/アジア、悩み/夢/希望/志/楽しさ、小/中/高/大/大人、
地元/出身者/学生/専門家/対馬ファン、産業/行政/大学

対馬学フォーラム2017より転載